



令和7年12月採用 羽村市職員募集

問合せ 職員課人事研修係 329



▲市公式サイト

募集職種 一般事務職（大学卒）

応募資格 次の条件をすべて満たす方

- (1)昭和60年12月2日以降に生まれた方
- (2)大学（修業年限4年以上）を卒業または採用時までに卒業する見込みの方

※詳しくは、市公式サイトを確認してください。

募集人数 若干名

募集要領・申込書の配布場所 市役所1階案内・3階職員課、プリモホールゆとろぎ、プリモライブラリーはむら、S&Dスポーツアリーナ羽村（スポーツセンター）、郷土博物館、水道事務所

試験日程と内容

※変更になることがあります。

試験日		試験内容	試験会場
一次試験	10月5日(日)	・能力試験 ・適応性検査	羽村市役所
二次試験	10月23日(木)	・グループディスカッション ・個人面接	

申込方法 郵送または直接、職員課へ

申込期間 9月1日(月)午前9時～24日(水)午後5時

※詳しくは募集要領を確認してください。

※募集要領・申込書は市公式サイトからダウンロードすることができます。



第37回 自殺防止！東京キャンペーン

問合せ 健康課（保健センター内） 625

東京都では9月と3月を自殺対策強化月間とし、キャンペーンを行っています。関係機関と連携して、相談受付時間の延長などを行います。

※いずれの窓口も相談料は無料です。別途通話料がかかります。

※0570で始まるナビダイヤルは、携帯電話の無料通話やかけ放題プランなどの対象外です。

窓口・キャンペーン期間中の相談窓口【実施団体】	電話番号	特別相談期間
フリーダイヤル特別相談【(NPO法人) 国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター】	0120-58-9090 03-5286-9090	9月5日(金)まで…午後8時～午前2時30分 ※【月】午後10時30分～、【火】午後5時～
有終支援いのちの山彦電話―傾聴電話―【(NPO法人) 有終支援いのちの山彦電話】	03-3842-5311	9月の火・水・金・土・日（祝日および第3・第4日曜日を除く）…各日正午～午後8時
（全国）自殺予防いのちの電話【(一社) 日本いのちの電話連盟】	0120-783-556	毎日午後4時～午後9時 9月10日(水)～16日(火)…各日午前8時～午前8時
（東京）東京いのちの電話【(社福) いのちの電話】	03-3264-4343	毎日24時間
東京都自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～【(NPO法人) メンタルケア協議会】	0570-087478	9月19日(金)～23日(火・祝)…各日24時間
自死遺族傾聴電話【(NPO法人) グリーフケア・サポートプラザ】	03-3796-5453	9月2日(火)～6日(土)…各日午前11時～午後5時
自死遺族相談ダイヤル【(NPO法人) 全国自死遺族総合支援センター】	03-3261-4350	9月8日(月)～10日(水)…各日正午～午後6時

※東京都消費生活総合センターでは、「多重債務110番」(☎03-3235-1155)を9月1日(月)・2日(火)（各日午前9時～午後5時）に行います。



子どもの

居場所紹介

②

こどもまんなか社会の実現に向け、市内の子どもたちが安心して利用できる居場所・子ども食堂などをシリーズで紹介します。

問合せ 子ども政策課 261

特定非営利活動法人 フリースペースロビンソン

☎090-9814-8752

小学生～18歳対象

たまぐー（青梅市上町374【S&Dたまぐーセンター内】）

実施日時 金曜日 午前10時～午後4時

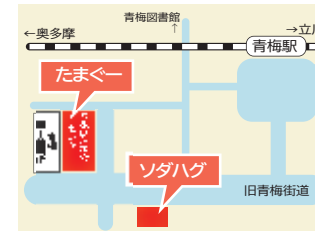
利用料 無料

中学生～18歳対象

ソダハグ（青梅市仲町321-4）

実施日時 水曜日 午前10時～午後2時

利用料 無料



※会場は変更になる場合があります。事前に確認してください。

お話してくれた方

フリースペースロビンソン
副理事長 井出 里美さん
（保育士）



フリースペースロビンソンでは、週に一度、不登校の子どもたちが安心して一歩踏み出せる居場所を開いています。何かができる・できない、学校に行く・行かないではなく、子どもの存在そのものを尊重して見守ることを大切にしています。

開いている時間ならいつ来ても、いつ帰ってもいい、決められた時間割やルールもありません。そして、子どもは昼食が無料で食べられます。お弁当を持ってくるでもいいですよ。

何らかのつらさを抱えて不登校になった子どもたちも、安心してゆっくり休むと少しずつ人との関わりを求めるようになります。

初めは人を避けていた子や、個々に過ごしていた子どもたちが、「場を共にし、お昼を食べる」ことの繰り返しの中で、だんだんに会話や関わりが生まれ、今では誘い合って一緒に遊んだり、おしゃべりに花を咲かせたり、ときにはぶつかり合ったりするような関わりが増えてきました。「ありのままの自分で大丈夫」との安心が膨らんでいく中で、

学校や適応指導教室、フリースクール、高校など、学びの場を広げていく子も出てきました。

ぜひ気軽にいらしてください。

※詳しくは、市公式サイトを確認するか、問い合わせてください。

▶子どもの居場所について(市公式サイト)

